

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日：令和7年12月20日

事業所名：こばんはうすさくら西大宮教室（放課後等デイサービス）

対象人数(保護者)18人 回答者数17人 回収率94%

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16		1		国の一基準に則り、資格を保有した職員を適正な人数で配置しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	15		2		完全に空間を分けることはできませんが、着席して活動に取り組む部屋（時間）、体を動かす部屋（時間）、静養室など内容に応じて部屋（空間）を分けたり、文字や絵カードなど視覚的情報を活用し、子どもたちが見通しを持って過ごすことができるよう工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			音楽療法が比較的頻繁にあり、動物セラピー？みたいなのも喜んでいました。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17			色々な先生方が細かい出来事まで把握し、それを反映したモニタリング表を見せて下さり、子供の事をとてもよく見てくれていると感じます。 面談の時間もしっかりと一人一人もうけてくれています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15		2		5領域、4つの基本活動を組み合わせた計画を作成しています。作成時には面談で関係者からニーズを聞き取った上で個々の目標を定め、目標を達成するための具体的な支援内容を会議ではかり設定しています。今後は各項目について面談時に改めて説明し、不明点を解消していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			飽きないよう とても工夫を凝らしたプログラムがあり、楽しんでいます	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15		2	外に連れ出してくれる機会も多いと思います。	近隣の児童館や図書館の利用、地域のイベントに参加する機会を多く設けています。今年度のイベント参加時は、スポーツ教室に他の子どもと活動する機会がありました。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17			よくおぼえてませんが、ざっくりとした説明はあったかと思います。	重要事項説明書に基づき説明をしています。不明な点のないよう分かりやすい説明に努めています。
保護者へ	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15		2		年1回の保護者会、保護者対象の施設見学会、家族で参加できる教室イベントを開催しています。また、今年度は屋外イベントでボランティアとして参加くださったご家族同士が交流することができました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		1		各マニュアルを設置し、実施時はインスタグラムやサービス提供記録、こばんだよりで様子をお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16		1		お子さんの利用についてご家庭で気になることがあれば、電話や直接相談できる体制があることを面談や送迎時などで周知していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16		1		同上
	29	事業所の支援に満足していますか。	16		1	他事業所に比べて、送迎時などに子どもの様子をしっかり教えてくれ、先生方も子ども達と真剣に向き合ってくれているように感じるため、安心して預けさせていただいている。	不明な点や要望はないか、面談時に確認をしています。今後は苦情対応窓口についての説明も合わせてしていきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすくら西大宮教室（放課後等デイサービス）				公表日 令和7年12月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		主に事業所家屋の2階部分を使用しているが、1階部分も活用していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			トラブル時に職員が不足しているように感じる職員がいる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		個人的にPDCAサイクルの実施が不十分を感じている職員がいる。チームの課題として捉え、振り返りの方法を共有していく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	第三者評価は現在行っていない。	実施については検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			行動観察が中心である。簡易的なアセスメントを使用しているが、実施できる職員が限られている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	常勤職員を中心にチームで立案している。	月間の会議で非常勤職員を交えて行うことについて検討。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		全員での打ち合わせが難しい日は可能なスタッフで個別で行うようにしている。	長期休み短縮日課時など支援前に事前打ち合わせができない日がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		今年度は児童発達支援責任管理者や常勤スタッフが出席している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		ご家庭の了解のもと、学校や相談支援事業所や区役所など関係機関と連携を取っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		併設の児童発達支援事業所を通して、または事業所と直接情報を共有できる環境にある。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	現在のところ該当例なし。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	研修については職員に周知をしている。	研修について不明な職員がいる可能性があるので周知方法に工夫が必要。助言を受けることが可能な点についても合わせて周知する。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7		今年は地域のイベントに参加することで、他の子どもと交流することができた。	交流の機会が限られている。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	区の子ども部会に所属している。開催時は出席している。	地域支援の観点からも子ども部会の取り組みについて職員に周知する必要がある。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者会で進路について情報提供をしたり保護者対象の施設見学会を実施している。	取り組みについて不明な職員がいるので周知が必要である。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		主に契約時に説明をしている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談や相談の申し入れがあれば都度応じ、関係機関につなげる必要がある場合は連携をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		今年は屋外イベントに保護者の方がボランティア参加、きょうだい参加があり、交流の機会を持つことができた。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情対応窓口があることはご家庭には契約時に説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもの特性に合わせたコミュニケーションツール（文字、イラスト、写真など）を使用している。	ツールの使用方法を全員が把握していない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	昨年に引き続き、夏のボランティアの受け入れを行っている。	取り組みが限定的で機会が少ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		今年度未実施の訓練は今後行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは年度ごとに見直しを行い、訓練も本年度は実施済みである。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		半年ごとの面談で服薬やてんかん時の対応について変化がないか書面と口頭で確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書があるケースは現在のところないが、保護者から申し出があれば対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、年1回の見直し、訓練及び研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		SNSなどで取り組み・活動の様子を発信している。	継続的に発信する必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		委員会を設置しやむを得ず行う場合の3要件を定めている。現在該当はないが、該当児童がいれば基本指針に則って実施する。	現在該当児童なし。